

# 大野ダムの防災操作について (平成25年9月 台風18号)

- 平成25年9月15・16日の台風18号により由良川水系大野ダムの流域では、1時間雨量で最大33.7mm、降り始めからの総雨量は348mmを観測しました。この降雨により大野ダムへの最大流入量は毎秒1,717立方メートルに達し、**大野ダムの管理開始(昭和37年4月)以降、最高貯水位となるEL.175.37m(サーチャージ水位:EL.175.0m)**を記録しました。
- 大野ダムでは、流域全体の安全を確保する観点から操作を行うことで、**約2,198立方メートル(京セラドーム大阪約18杯分)の水をダムに貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で毎秒約860立方メートル(約5割)低減しました。**

